



薩摩川内市立  
海星中学校  
令和元年 12月 17日 発行

## 終わりは始まり

校長 瀧上 盛人

先月末(11月26日)、鹿児島市中央公民館の常深 透館長を講師に招き、長浜小・鹿島小・海星中学校の合同元気塾を開催し、人権について学習しました。「自分のキラリを見つけよう」や「短所は長所」「リフレーミング」など、楽しく深い学習をすることができました。実は、常深館長が前日入りで下甕に宿泊されるということで、食事会をする機会がありました。当日の元気塾も素晴らしかったのですが、食事会では、もっといろいろな深い話を聞くことができました。中でも次の話が印象に残ったので紹介します。

校長時代に、毎朝、生徒と一緒に正門であいさつ運動をしていると、まったくあいさつをしない大人の人を通る。わざと大きな声であいさつしてもあいさつを返してこない。だんだん腹が立ってきた。すると、中学2年の女子生徒が、「校長先生、人の為と書いてなんと読むか分かりますか」と聞いてきた。「偽り(いつわり)だよ。」と答えると、「校長先生は、あいさつを人のためにやっているんですか。それは、偽りになりますよ。あいさつは、自分のためにするものだと私は思います。」とその生徒から言われ、なるほどと感心しながら、反省した。

実は、「人の為と書いて『偽り』」というフレーズは、SEKAI NO OWARI が歌っている Never Ending World という曲の歌詞に出てくるものだそうです。早速、この曲について調べてみました。この Never Ending World は、2011年3月11日に東北地方太平洋沖を中心に起きた「東日本大震災」をきっかけに作られたそうです。時間が経てば、どんな記憶も薄れていく、だからこそこの曲を聴いて、あの震災の記憶を忘れないで欲しいという思いが込められているようです。また、常深先生と生徒との会話にある「人の為と書いて『偽り』」という部分については、人間の生き方が描かれているようです。「偽善者」という言葉は、「自分の本心を偽り良い行いをする人」を指した意味もあり、「人は偽りの行動が先行した後に本心という存在に気づけるのかも知れない」と歌詞の中でも歌っています。本心でなくとも偽りであっても、よい行動を続けていけば、やがてそれが本心となり、本物になっていくのではないのでしょうか。

さて、令和元年ももうすぐ終わり、2020年という新しい年がやってきます。このこの Never Ending World の歌詞の中に「『何か』が終わってしまったけれど それは同時に『何か』が始まって『始まりは』いつも怖いけれど だからこそ『僕ら』は手を繋ごう」とあります。「終わり」は「始まり」です。世の中は、常にこのくり返しで、このくり返しが我々を成長させてくれるのだと思います。2020年

がどんな年になるか、不安もありますが、楽しみでもあります。ワクワクします。そんな魅力ある年にするために、生徒・保護者・地域・職員が手を繋いでいきましょう。

平成31年・令和元年、ありがとうございました。それでは、よいお年をお迎えください。



## 成果を信じて! 持久走大会

12月13日(金)に持久走大会を実施しました。男子は長浜漁港付近までの5km、女子は下甕環境センターまでの3.5kmで競い合いました。各自、目標タイムを設定して、体育の授業や夕方の練習に励みました。結果、男子の部で新記録と躍進賞(昨年の記録より2分短縮)が生まれました。おめでとうございます! 沿道では、大漁旗を振っての応援など、多くの保護者・地域の方々から温かい声援を送っていただきました。また、安全確保のため御協力をいただきました保護者の皆様方に感謝申し上げます。 ~大会記録~

### 男子の部 (5km)

- 新① 2年 I. T (20分18秒)
- 躍進② 2年 H. I (21分17秒)
- ③ 1年 K. M (21分52秒)

### 女子の部 (3.5km)

- ① 3年 M. N (15分03秒)
- ② 1年 H. T (18分43秒)
- ③ 2年 H. A (19分33秒)

### ~生徒の感想より~

- きついからか嬉しいからか泣いてしまいました。残り200mは全力を出しすぎて覚えていません(1年Kさん)
- 自分の力を出し切って、なんと25分台で走りきりました。あきらめは最大の敵だと思いました(1年Rくん)
- 僕はあと4秒で躍進賞。後半は、走り終わったら、ご飯ご飯といいながら頑張っていました。(2年Rさん)



## In case of emergency! 避難訓練

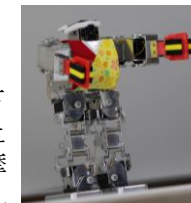
12月11日(水)に地震を想定した避難訓練を実施しました。生徒は緊急地震速報→シェイクアウト訓練放送の指示で、迅速に校庭に避難しました。

次に、前田下甕島分駐所長ら3人から止血等の応急手当や傷病者の運搬法を実演を交えてわかりやすく教えてもらいました。最後に学校長が「いざというときに冷静に対処する大切さ」と、実母の経験談を話しました。生徒代表(Mさん)は「今日学んだことを家族に教えてあげたいです。」とお礼を述べました。「In case of emergency: いざというときに!」



## 元気塾! ロボットから夢を!

12月4日(水)に講師に樋脇工業社長の松下順紀さん、他2人をお招きして「夢を叶えるために学んでもらいたいこと」と題して、薩摩川内元気塾が開催されました。3体のロボットが、細かい動きで音楽に合わせて踊ったり、生徒があめ玉の入った筒を、ロボットを操作して倒したりして、大変盛り上がりしました。また、松下さんの経験を基にした講話では、「大きな夢、小さな夢を持つことの大切さや、夢を叶えるためには困難に出会う。それを乗り越えるための気持ちの持ち方(自分の心の中にもう一人のライバルの自分を作る)(今さら...と思わず、今だからこそ...と思う)が大切」と教わりました。1年のK. Mさんは「ロボットを作るのに、人間の特徴を使っていると知って、とてもびっくりした。松下さんはたくさんの苦勞をして、今のロボットを作り上げたことがとてもすごいと思いました。夢をあきらめず、小さな夢でも叶えられるようにがんばりたいです。」と感想を述べました。



松下さんは「夢を叶えるために学んでもらいたいこと」と題して、薩摩川内元気塾が開催されました。3体のロボットが、細かい動きで音楽に合わせて踊ったり、生徒があめ玉の入った筒を、ロボットを操作して倒したりして、大変盛り上がりしました。また、松下さんの経験を基にした講話では、「大きな夢、小さな夢を持つことの大切さや、夢を叶えるためには困難に出会う。それを乗り越えるための気持ちの持ち方(自分の心の中にもう一人のライバルの自分を作る)(今さら...と思わず、今だからこそ...と思う)が大切」と教わりました。1年のK. Mさんは「ロボットを作るのに、人間の特徴を使っていると知って、とてもびっくりした。松下さんはたくさんの苦勞をして、今のロボットを作り上げたことがとてもすごいと思いました。夢をあきらめず、小さな夢でも叶えられるようにがんばりたいです。」と感想を述べました。

## ~ 各種表彰及び大会結果 ~

- 第3回南さつま「いろは」まごころ短歌大会  
佳作 3年 H
- 「友達とかげおくりした帰り道 雲にかわってほね返るきみ」
- 日本漢字能力検定  
3級合格 3年 Hさん Mさん 2年 Mさん  
4級合格 2年 Iさん Hさん  
5級合格 1年 Nさん
- 第24回トンボロ芸術村コンテスト  
(絵画の部)南日本新聞社賞 3年 Hさん  
K Y T賞 1年 Kさん  
奨励賞 3年 Mさん  
入選(絵手紙) 3年 Mさん  
(書道の部)金賞 3年 Hさん  
入選 2年 Iさん 3年 Mさん  
佳作 1年 Nさん 2年 Mさん
- アフター国文第4回薩摩川内こころの川柳大会  
佳作 3年 H 「船さえも染まってしまう海の青」



南日本新聞社賞  
Hさん作

月	日	曜	主な行事
1	1	火	元日
	5	日	鬼火焚き(鹿島地区) 出初め式
	8	水	始業式 大掃除 いじめのない学校作りの日
	9	木	3年第4回実力テスト ~10日
	10	金	中期交流学习 入学説明会 授業体験
	16	水	鹿児島学習定着度調査 ~17日
	17	金	私立高校推薦入試
	23	木	小中一貫教育合同研修会
	24	土	私立高校一般受験 (1/28 1/29)